

2018年度 施設看護職退職者調査票等

記載の留意点

I. 2018年度 施設看護職退職者調査票 [調査票 2018-1-①～③]

1. 施設について

施設名・担当者(職位)・電話・FAXをそれぞれ記入する。地区および病床数は該当項目に○を付ける。

* 担当者には、後日確認等で連絡する場合がありますので、ご了承ください。

2. 就業者数について

- 1) 施設で採用した免許種別の人数を記入する。休業・求職者は除く。
- 2) 保健師のうち、実際に保健指導業務に携わっている人数を記入する。
- 3) 短時間正職員数は、対象期間中の延べ人数を記入する。入退職等個々の期間は問わない。
- 4) 退職者全員について、下記を参考に別紙回答用紙(2018-1-②常勤用、2018-1-③常勤以外用)に記入する。

調査項目	回答方法・項目の説明等
退職月	個々の退職者の退職月を記入する。例)7月退職⇒7
免許種別	個々の退職者の免許種別に「1」を記入する。
年齢	退職時の年齢区分を、上段注1①～⑧の番号を記入する。 ① 25歳未満 ② 25～29歳 ③ 30～34歳 ④ 35～39歳 ⑤ 40歳代 ⑥ 50歳代 ⑦ 60歳代 ⑧ 70歳代以上
在職年数	・当該施設に在職していた年数に「1」を記入する。 ・在職年数1年以内および2年以内は、新卒者(免許取得1年以内および2年以内)と既卒者の区別をして「1」を記入する。
退職後の動向	該当する項目に「1」、わからない場合は「不明」に「1」を記入する。
退職理由	主な退職理由(直接の原因)に「1」を記入する。退職理由が複数の場合は優先上位2つまで選ぶ。不明の場合は「不明」欄に記入する。

3. 定年退職者数と再雇用者数について

2018年度中に定年退職した人数と、その中から再雇用した者について人数を記入する。そのため、再雇用者は2019年4月1日再雇用者も含む。

4. 新卒看護職退職者の教育背景について

2018年度に採用した新卒看護職の内、同年度内に退職した者(調査票2018-1-②③の新卒1年以内)について、教育背景別に記入する。京都府内卒業者は再掲となる。

1. 2018 年度の採用状況

1) 新卒看護職採用数と背景

2018 年度に採用した新卒看護職について、職種・雇用形態・看護系教育背景別、さらに京都府内看護系教育機関を卒業した人数を記入する。

2) 既卒看護職採用状況と背景

2018 年度中に採用した既卒看護職(定年退職後の再雇用も対象)について、職種・雇用形態別に記入する。さらに府内外、有料職業紹介会社からの採用について、ある場合は記入する(再掲)。

2. 2019 年度の需要状況

1) 2019 年 4 月 1 日の採用状況

2019 年 4 月 1 日の採用の有無に○をつけ、採用有の場合はその人数を職種及び雇用形態別に記入する。新卒者は再掲する。

2) 2019 年 4 月 1 日現在の不足について

2019 年 4 月 1 日現在の不足の有無に○をつけ、不足有の場合はその人数を職種別に記入する。不足する人数のうち、新卒者は再掲する。

言葉の定義

※**新卒看護職**:免許取得後 1 年以内の看護職であり、初めて看護業務につくもの

※**定年退職者**:各施設で定められた、一定の年齢に達したことを理由に雇用契約が終了した者すべてを指す

※**常勤雇用者**:雇用者と雇用期限の定めがない雇用契約を結んだ職員

※**常勤以外の雇用者**:パート、非常勤、契約、嘱託、派遣職員等

※**短時間勤務正職員**:常勤雇用者で、所定労働時間より短い労働時間の勤務をする職員。雇用者と雇用契約を締結した者のうちパート・アルバイト・臨時職員は除く

その他

- ① 調査票(PDF・Excel)は京都府看護協会のホームページにも掲載しています。Excel(2007)は入力可能です、できるだけメールで送信お願いいたします。
mail:kyoto@nurse-center.net
- ② 病院内に訪問看護ステーションを併設している場合は、**病院・ステーション別**にご回答ください。(その際は、調査票をコピーしてください)
- ③ 回答用紙が不足する場合は、調査用紙[常勤用][常勤以外用]をそれぞれコピーして使用して下さい。
- ④ 記入漏れ等につき、電話等で担当者様にご連絡させていただく場合があると思いますので、ご了承いただきますようお願いいたします。